

# 石川県七尾美術館だより

平成30年4月1日発行  
編集・発行 (公財)七尾美術財団

## 第93号(春号)



ISHIKAWA  
NANAO  
ART MUSEUM

能登立国1300年

長谷川等伯展

～等伯の挑戦と継承せし者たち～

「恵比須大黒・花鳥図」(3幅の内)

長谷川信春(等伯)筆 京都国立博物館蔵



# 展覧会紹介

平成30年4月28日(土)～

6月24日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

能登立国1300年

## 「長谷川等伯展」

「等伯の挑戦と継承せし者たち」

4月28日(土)～5月27日(日)

【会期中無休】

### ◆第1・第2・第3展示室

能登は今年、立国1300年を迎えました。石川県という「加賀百万石」が有名ですが、それ以前には長きにわたる能登の繁栄がありました。その歴史の中でも、特に輝きを放ったのが室町時代です。そして、その室町時代末期に七尾に誕生したのが、他でもない「長谷川等伯」なのです。

長谷川等伯(1539～1610)は、能登の守護・畠山氏の家臣・奥村家に生まれ、後に染物屋を営み絵師でもあった長谷川宗清の養子となり、20歳代にはすでに信春の名で絵仏師として活躍していました。現存作品や史料などから、おそらく10歳代から京都を往来し、30歳代中頃に正式に京都へ移住したと考えられます。

京都では一時期狩野派に学びますが、法華宗の芸術家一門や堺の豪商や茶人のネットワークを後盾とし、メキメキと頭角を現すと、当時一級の文化人たちに認められ、一派を成して豊臣秀吉などの御用を務めました。

さて、「長谷川等伯展」シリーズ23回目となる本年は、常に挑み続けた等伯や弟子たちの作品を、《等伯の挑戦：仏画と鑑賞画》《等伯の挑戦：巧みな水墨の技へ》《等伯を継承せし者たち》の3つのテーマで紹介します。当館初公開作品や「複製松林図屏風」を含む27点を是非ご覧ください。

20歳代前半頃の等伯作品は、染物屋で絵師でもあった養父・長谷川宗清の影響を受けたといわれますが、宗清の時代は京都から多くの文人が七尾を訪れ、歌会や茶会が催されるなど、畠山文化が花開き隆盛を誇っていました。50歳代の等伯が語ったことを、京都・本法寺の日通上人が記述した『等伯画説』には、畠山氏の屋敷や能登の總持寺に存在した、日本や中国の絵画についての記述があり、若き等伯はこれらの作品からも字び、腕を磨いたと考えられます。

### ■等伯の挑戦：仏画と鑑賞画■

一方、昨年の当館「長谷川等伯展」では、高岡市大法寺の栗原啓允御住職により、等伯が京都で頼った本法寺の塔頭で、等伯が住まいを置いた宿坊・教行院の信徒に、刀剣御用の本阿弥家、蒔絵御用の五十嵐家、彫金御用の後藤家、俵屋を屋号として唐織・絵屋を家職とした喜多川・蓮池家など、錚々たる芸術家一門が名を連ねていることが紹介され、若き信春時代の強固な人脈と、京都における修行の状況が見えてきました。

それらを踏まえ、信春時代の仏画と鑑賞画を中心に、宗清などの作品も加えて紹介します。

### 石川県指定有形文化財

「十二天図」3面内1面(画像は部分)

長谷川信春(等伯)筆 羽咋市・正覚院蔵

十二天は八方天に上下の天、日月の天を加えた、密教における護法神。本図は本来12の掛軸でした

が、保存上現在は4図ずつ3面の額装になっています。本図はその内「羅刹天」で、26歳の制作ですが体はバランスよく描かれ、丁寧に彩色されています。鮮やかな朱色の使い方は絶妙で、信春時代の仏画の特徴がよく表れた作品です。



### 「恵比須大黒・花鳥図」3幅(画像は部分)

長谷川信春(等伯)筆 京都国立博物館蔵

お酒で酔っぱらっているのか、恵比須が大黒の髭を掴んだ姿を描く、ユーモアあふれる1幅(表紙)を中央に、右側に花虫、左側に花鳥を描いた作品です。本図は右の図で、芍薬と舞う2匹の胡蝶が描かれています。よく見ると芍薬の茎には蟻がいっぱい！中国の草虫画などの影響も見られ、とにかく緻密です。さて、蟻は何匹いるでしょうか？



## ■等伯の挑戦：巧みな水墨の技へ

等伯は器用な画家で、着色の仏画や肖像画、花鳥画や金碧画まで色々な作品を描きましたが、水墨画において本格的な大作を手掛けたのは晩年といわれています。晩年は水墨画に美の境地を求め、牧谿や玉潤、梁楷らの作品から優れた表現を吸収し、墨・水・筆を自由自在に使いこなし、数々の名作を生み出してきました。

ここでは、巧みな水墨の技をお楽しみください。

### 京都市指定有形文化財

「豊干・寒山拾得・草山水図座屏」2基(画像は部分)

長谷川等伯筆 京都市・妙心寺蔵

本図は2基の座屏の両面に描かれた水墨画。1基の表は虎の背に乗る豊干禪師が前方に向かって進む姿で(画像)、裏は澆墨の山水。もう1基の表は掃除中のほうきを放り出し、手を叩いて豊干を迎える拾得と、経巻を巻きながら豊干の方を振り返る寒山の姿で、裏には同じく澆墨の山水が描かれています。脱俗した豊干や寒山拾得の飄軽な表情は、なんとも味わいがあります。

※前期展示：

4月28日～5月13日

豊干禪師と山水。

※後期展示：

5月14日～27日

寒山拾得と山水。

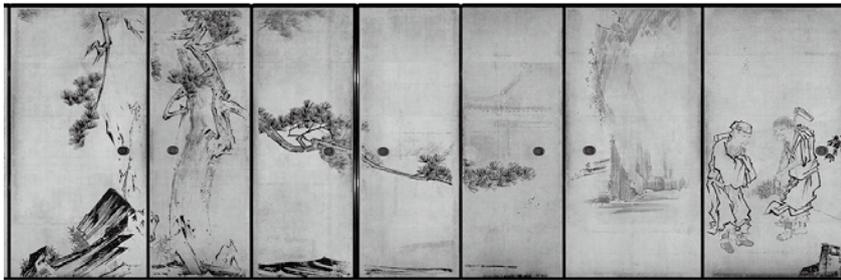
### 国指定重要文化財

「禅宗祖師図襖」16面内8面(画像は部分)

長谷川等伯筆 京都市・天授庵蔵



禅宗の祖師たちを描いた場面で、右端で鋏を担ぐ人物は五祖弘忍、その左で杵を背負った人物は、その弟子・六祖慧能です。向かい合うように描かれています。元々は別々の画面で、人物表現は中国南宋の宮廷画家・梁楷の作風に学んでいます。勢いのある樹木や斧で割ったような岩の表現は、等伯晩年の水墨画の特徴です。



## ■等伯を継承せし者たち

「藤花・牧牛図屏風」6曲1双(画像は左隻)

長谷川宗圓(等雪)筆 大津市・盛安寺蔵

作者は長谷川派の絵師・宗圓。右隻には華やか



な藤棚と池、左隻には9頭の牛と3人の牧童が描かれています。金箔で上手く画面を構成した装飾的な作品で、琳派の影響も感じさせます。等伯は中央の角を突き合わせた2頭の牛と、牛の綱を引つ張る牧童とそっくりな作品を信春時代に描いており(その写しが現存)、きつと宗圓は等伯の作品を参考にしたのでしょう。

## 等伯展関連催し

### ◆特別講演会(聴講無料)

日時：4月29日(日・祝)

午後2時より

講師：守安 収氏(岡山県立美術館館長)

演題：「雪舟から等伯へ―雪舟画系の展開」

☆ご聴講の方全員に、等伯関連絵ハガキを1枚プレゼントします♪

### ◆等伯子どもなんでもクイズ(参加無料)

日時：会期中随時

対象：小中学生

会期中、小中学生対象のクイズを開催します。

挑戦して、等伯博士になろう！

☆全問正解者の中から抽選で、等伯関連グッズ

をプレゼントします♪

### ★記念撮影コーナー

等伯が火伏の神・戦勝祈願の神を描いた当館所蔵の「愛宕権現図」が、人気の顔出しパネルになって初登場！ぜひ、鎧甲を身に着け、馬にまたがった勇ましい姿になってみてください！

### ◇観覧料

	個人	団体
一般	800円	700円
大高生	350円	300円

※中学生以下無料・団体は20名以上です。

# 「第74回現代美術展 七尾展」

6月1日(金)～24日(日)

## ◇第1・第2・第3展示室

「現代美術展」は、主に日本芸術院会員や人間国宝をはじめとする、石川県内在住の作家や美術愛好家たちが出品する公募展で、今回で74回目を迎えます。

終戦2日後の昭和20年8月17日、石川県では早くも地元作家が中心となり、美術界の再起を図るべく、美術展の開催に向けて動き始めました。そして同年10月13日、石川県美術館の開館記念展を兼ねて「第1回現代美術展」はスタートしたので

「美術文化の向上による新日本建設への寄与」をスローガンに掲げた展覧会は、予想を上回る観覧者を集め大成功、その後も毎年開催されてきました。現在では日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門で構成され、その規模は公募展として県下最大を誇ります。また、所属会派を超えて出品されることから、石川県における美術の現在を知る絶好の機会となっています。

今年3月29日(木)から4月15日(日)までの18日間にわたり、石川県立美術館(洋画・彫刻・工芸)と金沢21世紀美術館(日本画・書・写真)の2会場で開催されます。展示作品は委嘱出品と一般公募から構成されており、委嘱出品の部では、出品委嘱作家(石川県美術文化協会会員)の作品が展示されます。一方、一般出品の部は、入選率5割という厳しい審査を経て選ばれた作品を展示するもので、展示の総点数は千点にもおよびます。

当館では平成7年の開館以来、毎年6月に「現代美術展 七尾展」を開催しており、今年で24回目を数えます。

金沢展の後、県内の4会場を巡回しますが、巡

回展は開催地ごとに地域の文化や産業をも反映した地域色豊かな展示内容となります。昨年7月に98歳で亡くなられた輪島塗の重鎮で文化功労者の三谷吾一氏は、第1回現代美術展から唯一出品を重ねてこられた作家でもありました。七尾展では三谷氏を筆頭に、能登を代表する輪島塗の作家も数多く紹介してきました。

本展では「第74回現代美術展」出品作品の中から、石川県美術文化協会役員の作品、能登地区在住および出身委嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品(能登地区各市長賞と能登地区ゆかりの作家のみ)、能登地区在住者の作品を選抜し、約250点の作品を紹介します。日本を代表する大家から、身近な作家の作品までをお楽しみください。

会期中、第3展示室の1室では「池田コレクション」を展示します。観覧料は「現代美術展」と共通料金です。

※ここでの能登地区とは宝達志水町以北を指します。

### ◇観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	300円
中学生以下無料・団体は20名以上です。	350円	300円	

※中学生以下無料・団体は20名以上です。



昨年の展示会の様子

## 平成29年度新収蔵品紹介

平成29年度中に、新たに加わった所蔵品を紹介します。今回は「池田コレクション」が2点と日本画が1点の計3点。いずれも魅力たっぷりのラインナップです。これらの貴重な作品をご寄附くださいました皆さまに対し、心より感謝申し上げます。(4月1日現在)

①日本画「孔雀・雲龍図衝立」 1基

「孔雀図」：円山応震作  
「雲龍図」：横山華山作  
江戸時代(19世紀)制作  
※池田コレクション

②彫刻「波に千鳥・老松図衝立」 1基

吉田一雋作  
昭和時代(20世紀)制作  
※池田コレクション  
※①・②池田輝三郎氏より寄附。

③日本画「刻々と、Toledo」 1面

士農 力作  
平成27年(2015)制作  
改組新第2回日展  
※③士農 力氏より寄附。



③「刻々と、Toledo」



①「孔雀・雲龍図衝立」(部分)



②「波に千鳥・老松図衝立」(部分)

◆ミュージアムグッズのお知らせ◆

当館受付ミュージアムショップコーナーでは毎年開催している長谷川等伯展の図録をはじめ、関連グッズを販売しています。

等伯作品の絵はがきやクリアファイル、一筆箋はお手頃価格かつ実用的ですのでお土産として人気があります。

また、プレゼントとして松林図屏風ミニチュアや扇子をご購入されるお客様もいらっしゃいます。

友の会会員の方には一部割引販売もしていますので、ご来館された折りに是非、お立ち寄りください（価格はいずれも税込みです）。



絵はがき 各100円  
クリアファイル 各350円～540円  
一筆箋 各300円



松林図屏風ミニチュア 6,480円  
（友の会会員価格 6,180円）  
松林図屏風扇子 3,240円  
（友の会会員価格 2,890円）

貸館催し物案内

アートホール

なかのと奏友会ユーフォニアム・テューバ&金管  
アンサンブルコンサートin2018春

4月22日(日) 開演 午後2時

無入場

金管楽器を使った2種のアンサンブルによる3部構成の演奏会です。第2部では金沢市を中心に活動されているフルートアンサンブルの団体をゲストにお迎えします。皆様気軽に挑戦してください。

主催 なかのと奏友会

連絡先 荒川 ☎090(3768)5608

ドルチェ・ママ創立47周年  
ありがとうコンサート

6月3日(日) 開演 午後2時

無入場

七尾初の女声合唱団として誕生し、47年目にし初めのコンサートを開催します。手作りのあたたかさを感じていただけるよう、団員一同励んでいます。どなたでもお気軽にご来場ください。

主催 女声合唱団ドルチェ・ママ創立47周年

記念事業実行委員会

連絡先 西村由紀子

☎0767(52)2730



鵬学園高等学校吹奏楽部  
第2回定期演奏会

6月10日(日) 開演 午後2時

無入場

昨年引き続き今年もアートホールで開催する運びとなりました。部員一同皆様のご来場をお待ちしております。

主催 鵬学園高等学校吹奏楽部

連絡先 浮田 ☎0767(53)2184

エレクトーンフェスティバル ミヤコ音楽堂大会  
&ジュニアオリジナルミニコンサート2018

6月24日(日) 開演 午後3時

無入場

ヤマハ音楽教室の生徒が参加するエレクトーン北陸代表選出会と同時に、生徒自身が作った曲を演奏するコンサートを開催します。一生懸命練習した子供たちの演奏を是非聴きにきてください。

主催 ミヤコ音楽堂

連絡先 ☎0767(53)0001

アートホール&市民ギャラリーを  
利用しませんか

当館では、演奏会やグループ展などの幅広い芸術活動の発表の場として、アートホールと市民ギャラリーの貸室を行っています。当館主催事業等で利用できない期間もありますので、お気軽にお問い合わせください。

【利用可能期間は当館ホームページでも確認できます】

# 平成30年度 友の会 行事スケジュール

～みなさまのご参加をお待ちしております～

2018 4月	4月1日(日)	◆「美術館だより93号(春号)」発行
	4月27日(金)	◆「長谷川等伯展」開幕前日の開会式・内見会 無料ご招待
7月	7月1日(日)	◆「美術館だより94号(夏号)」発行 ◆「第3弾! 友の会オリジナルグッズ」プレゼント
	8月4日(土)	◆「北斎展～師とその弟子たち～」開会式・鑑賞 無料ご招待
10月	10月1日(月)	◆「美術館だより95号(秋号)」発行
	10月未定	◆「第19回友の会鑑賞の旅」開催 長野県小布施 「北斎を巡る旅」北斎館、岩松院を鑑賞予定
11月	11月2日(金)	◆「2018イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式・鑑賞 無料ご招待
2019 1月	1月1日(火)	◆「美術館だより96号(冬号)」発行
	1月未定	◆「美術講座」開催 日本画編「日本画を知る」



※行事・開催日程等は変更及び中止する場合がありますので、ご了承ください。

## ティールームからのお知らせ

展覧会を楽しんだあとは、ティールームでゆつくりおくつろぎください。

### 《長谷川等伯展限定メニュー》

#### 【ふじはくカラー】(¥500)

水墨画をイメージした黒カレです。

黒糖の甘さとカレーのスパイスが絶妙にマッチし、不思議で魅力的な味です。

《期間 4/28～5/27》

#### ★友の会会員の皆様

会計時にレジにて会員証をご提示いただくと10%割引になります。(10円未満切捨)

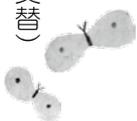


## ボランティアさん募集

現在40名の皆さんが楽しく、無理なく活動しております。お客様が鑑賞しやすいように目配りしていただき、時にはマナーについての声掛けなどもお願いしています。

興味・関心のある方、どうぞお気軽にお問い合わせください。

場 所…七尾美術館展示室内  
活動時間…9時～13時、13時～17時 (半日交替)

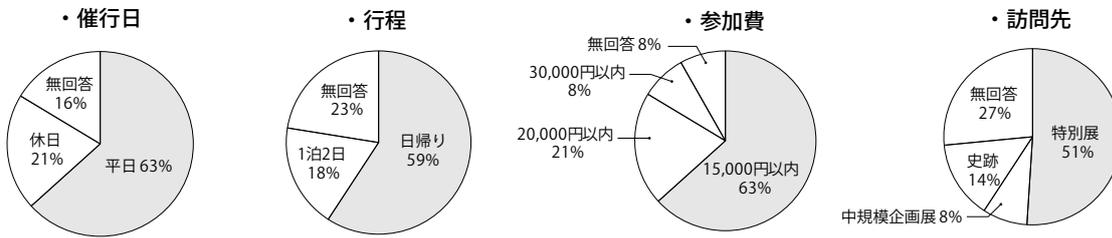


# ～石川県七尾美術館友の会 アンケート結果報告～

平成29年度友の会会員対象アンケートの結果についてご報告いたします。  
488名にお送りし、49名からのご回答をいただきました。次年度よりの事業計画の参考にさせていただきます。

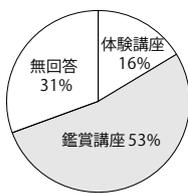
## 1.参加してみたい「鑑賞の旅」は？

□：会員様のご意見



## 2.参加してみたい「美術講座」は？

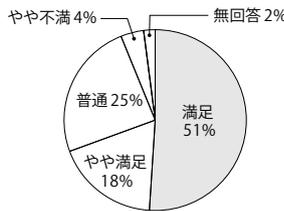
・内容



・油絵名画展を鑑賞してみたいです。

## 3.「美術館だより」について

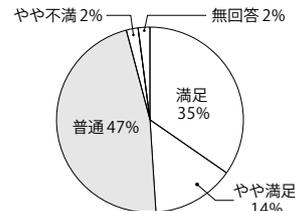
・満足度



・いつも楽しみにしています。

## 4.「割引提携館」の数、および提携先について

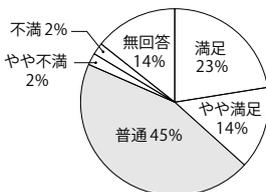
・満足度



・割引されると嬉しいです。

## 5.「グッズの割引」について

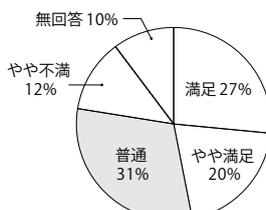
・満足度



・等伯展図録も割引になると嬉しいです。

## 6.「平成29年度入会記念グッズ」について

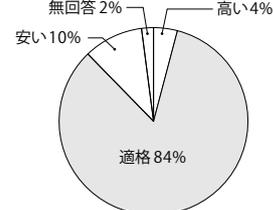
・満足度



・しおり愛用しています。

## 7.「友の会年度会費(1,000円)」について

・価格



・この価格ですと気軽に入会しやすいです。

ご協力いただきましてありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

### ★石川県能登島ガラス美術館

平成30年度 展覧会情報★

#### ①企画展「ガラスの植物園」

会期 4月21日(土)～7月22日(日)

私たちは身近な植物に季節を感じ、あるいは自らの人生を投射してきました。そんな植物の姿に魅了された作家たちによる、様々な「ガラスの植物」を紹介。



「植物の記憶」2017年  
佐々木類 作家蔵

#### ②特別展「ガラスのうつわ 手から生まれる暮らしのかたち」

会期 7月28日(土)～11月4日(日)

「使われること」を前提に制作された、様々なガラスのうつわ。「見て」「使って」2度楽しいこれらの作品を展示し、ガラスのうつわの現在(いま)を探ります。

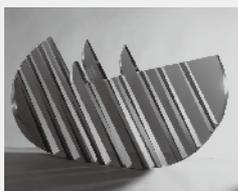


「モザイク文鉢」制作年不詳  
船木倭帆 松尾地所株式会社蔵  
撮影：佐藤拓央  
画像提供：高草木博純

#### ③テーマ展「透かし見る・ガラスの風景」

会期 11月10日(土)～平成31年3月31日(日)

一見同じ眺めでも、作家により独自のイメージが加わる「風景」というジャンル。コレクションのガラス作品を通して、作家の「心の風景」を見てみましょう。



「時の船」1998年  
パヴェル・フラヴァ  
石川県能登島ガラス美術館蔵

※展覧会の詳細は能登島ガラス美術館までお問い合わせください。  
☎0767-84-1175



# これからの展覧会予定



平成30年6月30日(土) ~ 7月29日(日)

## ◆第1・2展示室 「池田コレクションの美と出会う」

七尾市出身の実業家・池田文夫氏(1907~87)が蒐集した、当館所蔵品の中核「池田コレクション」。桃山時代の茶陶を中心とした工芸や近現代絵画、彫刻などから構成される珠玉のコレクションです。

その「池田コレクション」に、この度2点の新たな仲間が加わりました。「孔雀・雲龍図衝立」(円山応震・横山華山筆)および、「波に千鳥・老松図衝立」(吉田一雋作)のいずれも衝立作品です。

これで「池田コレクション」はあわせて289点。本展では両作品を初公開するとともに、同コレクションより様々なジャンルの多彩な作品たち約60点を幅広く紹介予定です。



「孔雀・雲龍図衝立」(部分)  
円山応震(池田コレクション)

平成30年8月4日(土) ~ 9月17日(月・祝) 会期中無休

## ◆第1・2・3展示室

### 世界が絶賛した浮世絵師

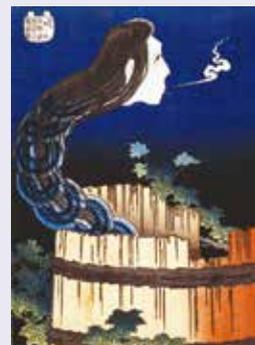
### 「北斎展 ~師とその弟子たち~」

江戸時代後期に活躍し、世界も絶賛した浮世絵の巨匠・葛飾北斎。『富嶽三十六景』の赤富士や浪富士、『北斎漫画』などは、今なお絶大な人気を誇り、約90年に及ぶ波瀾万丈の生涯において、美人画・風景画・役者絵・妖怪絵・絵手本など、様々な名作を生み出しました。本展では貴重な肉筆画を含む、奇抜な発想・大胆な構図・独創的な色使いによる北斎の世界をご堪能ください。また、今回は北斎に影響を受けた弟子たちと、フランス人画家アンリ・リヴィエールの「エッフェル塔三十六景」も紹介します。

右「富嶽三十六景 凱風快晴」  
葛飾北斎



下「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」  
葛飾北斎



★ぬり絵や記念撮影もお楽しみください。

「百物語 さらやしき」葛飾北斎

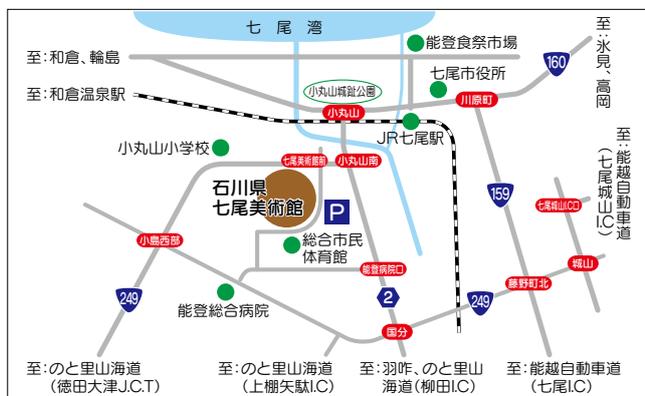


割引、プレゼントなど特典いろいろ！  
ぜひ当館でもご利用ください。

無線でネット



エントランスホール及びティールームにて、Wi-Fiスポットサービスの「FREESpot」をご利用頂けます。



- 飛行機…のと里山空港から「のと里山海道」利用約45分 ●車…「のと里山海道」徳田大津J.C.T.から約15分又は「能越自動車道」七尾城山I.C.又は七尾I.C.から約10分 ●タクシー…JR七尾駅から約5分
- 徒歩…JR七尾駅から約20分 ●市内循環バス「まりん号」…JR七尾駅前「ミナクル」バス停から「七尾美術館前」下車(順回り約8分・逆回り約14分、1日各8便) ●ななおコミュニティバス「ぐるっと7」…JR七尾駅前5番乗り場から「小丸山台1丁目」下車(西コース約10分、1日4便)

◎次号・第94号(夏号)は7月1日発行予定です。

日	月	火	水	木	金	土	2018 <b>4</b> APRIL	◆4月~6月カレンダー◆ ◆開館時間◆ 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※休館日
1	2	3	4	5	6	7		
8	9	10	11	12	13	14		
15	16	17	18	19	20	21		
22	23	24	25	26	27	28	2018 <b>5</b> MAY	◆4月~6月カレンダー◆ ◆開館時間◆ 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※休館日
29	30							
6	7	8	9	10	11	12		
13	14	15	16	17	18	19		
20	21	22	23	24	25	26	2018 <b>6</b> JUNE	◆4月~6月カレンダー◆ ◆開館時間◆ 午前9時~午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※休館日
27	28	29	30	31				
3	4	5	6	7	8	9		
10	11	12	13	14	15	16		
17	18	19	20	21	22	23		
24	25	26	27	28	29	30		